

カヌージュニア選手権

田辺CSSC女子健闘

4人乗り3位、総合4位

文部科学大臣杯日本カヌースプリントジュニア選手権大会(日本カヌー連盟主催)が22日、山梨県富士河口湖町の精進湖であり、田辺カヌースプリントクラブ(CSSC)に所属する高校生の女子4人が出場。女子カヤックフオア200級で3位に入賞するなど健闘し、女子総合で27チーム中、4位に入った。

田辺CSSCから出場したのは、尾崎由依さん(田辺2年)、池口友望さん(神島2年)、砂野琉唯さん(田辺工業2年)、谷地あいさん(神島1年)の4人。女子カヤックフオアの200級では、決勝で42秒9

67を記録してトップと約1・6秒差の3位だった。同種目の500級では、決勝で1分57秒025を記録して4位に入賞した。

このほか、女子カヤックペア200級で尾崎・谷地組が

4位、砂野・池口組が6位に入賞。女子カヤックペア500級では尾崎・谷地組が7位だった。

大会は全国の中学2年生から高校3年生の425人が参加。各部門で予選、準決勝、決勝があり、6位までが表彰された。

田辺CSSCの女子カヤックフオアで主将を務めた尾崎さんは「合同で練習があまりできていない中、課題を修正しながら決勝に臨めた。できてうれしいこと、できなくて悔しいことが分かり、実りある大会だった。来年はこの4人で国体に出て入賞することが目標」と話した。

谷地さんは「中学の時にも全国大会で尾崎さんとペアを組み、悔しい思いをしていたので入賞できてうれしい」。砂野さんは「ペアで決勝まで進み、6位に入賞したのはすごくうれしい」。池口さんは「ペアの決勝は緊張したけど、2人でつかんだ入賞と、それぞれ喜びを語った。



女子総合4位に入った田辺カヌースプリントクラブのメンバー。(左から)谷地あいさん、尾崎由依さん、砂野琉唯さん、池口友望さん